

タイトル	特定 DTC 照会アプリでの二次元コードリーダの使用方法について
概要	特定 DTC 照会アプリの「車検証二次元コード読取」機能による二次元コードリーダの動作条件や使用方法については、下記のとおりです。なお、二次元コードリーダによっては、機器固有の原因等により、動作しないまたは、一部の機能が使用できない場合があります。
<p style="text-align: center;">記</p> <h2>1. 二次元コードリーダの読取モード（[読取モード 1]、[読取モード 2]）について</h2> <p>二次元コードリーダには、複数の二次元コードを連続で読み取るモードと、二次元コードを1つずつ読み取るモードの、大きく分けて2種類のモードがあり、その機種によって、2種類のモードに対応したものと、片方のモードのみに対応したものがあります。</p> <p>特定 DTC 照会アプリでは、複数の二次元コードを連続で読み取るモードを [読取モード 1]、二次元コードを1つずつ読み取るモードを [読取モード 2] と表現しています。</p> <p>[読取モード 1]:</p> <p>車検証の二次元コードを連続的に読み取り、まとめて特定 DTC 照会アプリに情報を送ります。</p> <p>[読取モード 2]:</p> <p>車検証の二次元コードを一つずつ読み取り、その度に特定 DTC 照会アプリに情報を送ります。</p> <h2>2. 二次元コードリーダの動作条件について</h2> <p>[読取モード 1]、[読取モード 2] の動作条件は以下のとおりです。使用する二次元コードリーダの取扱説明書やメーカーホームページ等より、どちらのモードで使用可能か確認ください。</p> <h3>（1）[読取モード 1] の動作条件について</h3> <ul style="list-style-type: none"> ① 日本語(全角文字)の読み取りに対応していること ② USB-COM インターフェースに対応していること <p>※USB-COM は、以下のように様々な呼び名があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シリアルポートインターフェース ・USB シリアルエミュレーション ・USB Serial Emulation ・USB COM ポートエミュレーション ・USB COM Port Emulation ・USB 仮想 COM ポート ・USB バーチャル COM ・USB Virtual COM 等 	

(2)[読取モード2]の動作条件について

- ① 日本語(全角文字)の読み取りに対応していること
- ② USB-HID インターフェースに対応していること

※USB-HID は、以下のように様々な呼び名があります。

- ・ヒューマン インターフェース デバイス
- ・Human Interface Device
- ・キーボードインターフェース
- ・キーボードエミュレーション 等

3. 二次元コードリーダの使用方法について

[読取モード 1]、[読取モード 2]の使用方法は以下のとおりです。セットアップ方法の詳細については、使用する二次元コードリーダの取扱説明書やメーカーホームページ等より確認ください。

(1)[読取モード1]の使用方法について

① セットアップ:

使用する二次元コードリーダの取扱説明書やメーカーホームページ等を確認のうえ、セットアップを実施してください。使用する機種により、専用のドライバやアプリケーションのインストールなどが必要な場合があります。

② 接続設定:

二次元コードリーダの接続設定をします。設定の方法は、使用する二次元コードリーダメーカーが提供するソフトウェアを使用して変更する方法や、取扱説明書等に付属された設定用二次元コードを読み込ませる方法などがあります。使用する二次元コードリーダの取扱説明書やメーカーホームページ等を確認のうえ、実施してください。なお、機種によっては、本手順が不要の場合があります。

③ 特定 DTC 照会アプリの設定:

読取モードと使用する二次元コードリーダを設定します。特定 DTC 照会アプリのメニューの右上段の「設定」より、「特定 DTC 照会アプリ設定」画面を開き、「車検証二次元コード読取モード」を[読取モード1]に選択、続いて「車検証二次元コードリーダ」は使用する二次元コードリーダを選択し、「設定」を押下してください。

④ 車検証二次元コードの読取:

「車検証二次元コード読取」画面にて、二次元コードを「二次元コード2 (QR2)」⇒「二次元コード3 (QR3)」の順に読み取ります。

7. 初期表示

1. 読取

※ 「二次元コード2(QR2)」を読み取りましたら、次の画面が表示されます。続けて「二次元コード3(QR3)」を読み取ってください。「二次元コード3(QR3)」を読み込まれると OBD 検査画面に遷移しますので、OBD 検査(確認)を実施ください。



※ご注意ください:

次の画面のとおり、エラーが表示された場合は、「読取モード1」を利用できない二次元コードリーダーです。「読取モード2」で使用してください。なお、「読取モード2」の使用方法は、「(2)[読取モード2]の使用法について」を参照ください。



(2)[読取モード2]の使用法について

① セットアップ:

[読取モード2]を使用する場合は、特定 DTC 照会アプリを使用する端末に、二次元コードリーダーを接続すると、自動的に Windows 標準ドライバがインストールされセットアップされます。(ドライバがインストール済みの場合はインストールが実施されないことがあります。)

② 接続設定:

二次元コードリーダーの接続設定をします。設定の方法は、使用する二次元コードリーダーメーカーが提供するソフトウェアを使用して変更する方法や、取扱説明書等に付属された設定用二次元

コードを読み込ませる方法などがあります。使用する二次元コードリーダーの取扱説明書やメーカーホームページ等を確認のうえ、実施してください。なお、機種によっては、本手順が不要の場合があります。

③ 特定 DTC 照会アプリの設定:

読取モードおよび使用する二次元コードリーダーを設定します。特定 DTC 照会アプリのメニューの右上段の「設定」より、「特定 DTC 照会アプリ設定」画面を開き、「車検証二次元コード読取モード」を[読取モード2]に選択して、「設定」を押下してください。

④ 車検証二次元コードの読取:

「車検証二次元コード読取」画面にて、車検証二次元コード(二次元コード2)のテキストにカーソルがある状態にして「二次元コード2(QR2)」を読み取ります。

a) 初期表示

b) QR2 読取



- ⑤ 「二次元コード2(QR2)」を読み取りましたら、車検証二次元コード(二次元コード3)のテキストにカーソルを移動して「二次元コード3(QR3)」を読み取ります。

c) QR2 読取後

d) QR3読取

- ⑥ 「二次元コード3(QR3)」読み取り後、「確定」ボタン押下すると、OBD 検査画面に遷移しますので、OBD 検査(確認)を実施ください。

※ご注意ください:

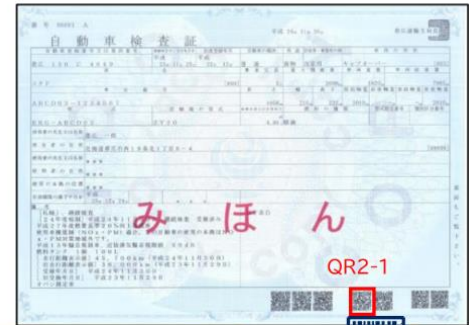
「二次元コード2(QR2)」及び「二次元コード3(QR3)」は、複数の二次元コード(QRコード)が連結されています。使用する二次元コードリーダによっては、この複数の連結された二次元コード(QRコード)を処理できる機能を有していないものがあります。(接続 QR 未対応)

この場合、テキスト内でカーソルが、移動しないため、1つ目の二次元コード(QRコード)を読み取ったら、読み取りで書き込まれた文字の右側にカーソルを移動して、次の二次元コード(QRコード)を読み取る必要があります。

参考: 連結 QR 未対応の場合の使用方法

- ① 「車検証二次元コード(二次元コード2)」にカーソルを位置付け、1 つ目の二次元コード (QR コード) を読み取ります。

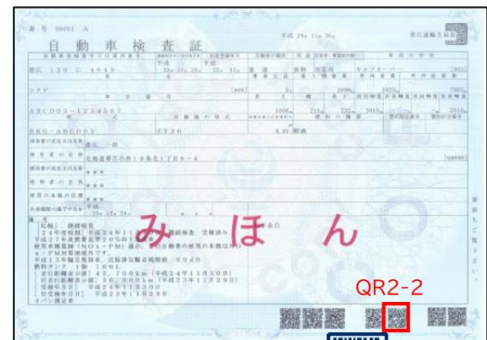
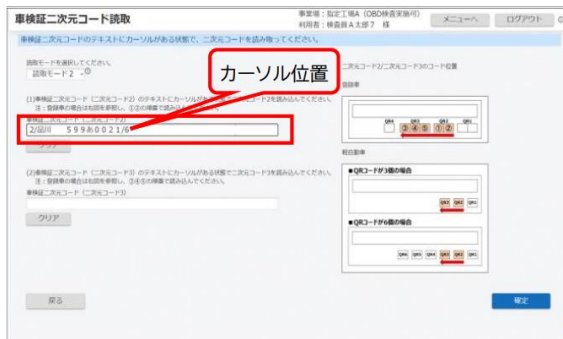
a) 初期表示



b) QR2-1 読取

- ② 1 つ目の二次元コード (QR コード) の読み取りで書き込まれた文字の右側に、カーソルを移動させて、2 つ目の二次元コード (QR コード) を読み取ります。 (「二次元コード3 (QR3)」も同様に読み取る必要があります。)

c) QR2-1 読取後



d) QR2-2 読取

4. 特定 DTC 照会アプリの設定方法について

特定 DTC 照会アプリの設定方法等の詳細については、「特定 DTC 照会アプリ操作マニュアル」の以下の箇所に掲載していますので、こちらも確認ください。

特定 DTC 照会アプリ操作マニュアル 掲載箇所

- 2.4 設定を確認する

以上